

科目名 (Eng)		コミュニケーション論入門(Introduction to Communication Science)						
担当教員		松江 俊一						
対象学年等	学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
	コミュニケーション情報学科	1	前後期 通年	必修 選択	2	(60)	専門	C
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(F-1). (F-2). 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：6).							
授業の概要と方針		コミュニケーション学の基礎となる要約力、論理的な記述・発話能力を養うためのトレーニングを行う。コンピュータを用いたコミュニケーションの基礎を学ぶ。						
到達目標		①和文タイプを100字／1分間（漢字含有率約30％）を入力できる。 ②英文60words / 1分間（約250字）を入力できる。 ③新聞等を読み、内容についての的確にコメントできる。 ④情報検定3級程度の機器操作ができる。						
授業計画								
	週	授業項目	理解すべき内容				事前学習	
前期	1	イントロダクション	授業目標の把握、高専生活について考える				Excelの復習はその週のうちに必ず行うこと。  日本語ドリルは自分で問題を作って取り組むこと。  授業メモをもとに自作のノートを作成すること。	
	2	イントロダクション(2)	勉強の進め方、将来の進路を考える					
	3	タイピング練習、Excel 1	入力の基礎、sum関数、average関数					
	4	基本構文力(1)	文章の並べ替え・結合、メモの取り方					
	5	タイピング練習、Excel 2	相対参照、絶対参照					
	6	基本構文力(2)	文章のねじれを直す、ブラウジング、読書法					
	7	タイピング練習、Excel 3	if関数(1)					
	8	要約力(1)	場面の説明、文章の要約、音読の重要性					
	9	タイピング練習、Excel 4	if関数(2)					
	10	要約力(2)	劇画の要約、暗記の重要性					
	11	言葉の時間間隔	意味の含有率、手書きの重要性					
	12	タイピング練習、Excel 5	グラフ作成(1)					
	13	タイピング練習、Excel 6	グラフ作成(2)					
	14	総合演習	前期の総まとめ					
	後期	15	前期学習したことの総括	前期期末試験解答用紙の返却と解説				
16		タイピング練習、Excel 7	データベース(1)					
17		図化・文章化の往復運動 1	図を文章で説明する。日誌の重要性					
18		タイピング練習、Excel 8	データベース(2) 基本的なショートカットキー					
19		図化・文章化の往復運動 2	説明文を相関図にする					
20		タイピング練習、Excel 8	データベース関数(1)					
21		図化・文章化の往復運動 3	新聞記事を図で示す					
22		タイピング練習、Excel 9	データベース関数(2)					
23		後期中間試験(実技)	実技試験を授業中に実施する。					
24		モードチェンジ力 1	大人モードとこどもモード					
25		タイピング練習、Excel 10	LOOKUP関数(1)					
26		モードチェンジ力 2	話し言葉と書き言葉のモードチェンジ					
27		タイピング練習、Excel 11	LOOKUP関数(2)、INDEX関数					
28		モードチェンジ力 3	命令モードとお願いモード					
29		総合演習	後期の総まとめ					
30		後期学習したことの総括	後期期末試験解答用紙の返却と解説					
試験について		中間試験は共通科目試験日に50分間の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。						
評価方法		定期試験(実技試験も含む)40%、タイピング20%、小テスト・課題等40%で評価する。						
教科書		『実践!日本語ドリル』齋藤孝著、宝島社 『30時間でマスター Word & Excel 2002』実教出版						
参考書		『コミュニケーション力』齋藤孝著、岩波書店 その他授業中に指示する。						
関連科目		情報基礎、日本語1・2、コミュニケーション論						
履修上の注意		復習・宿題を毎回やり終えてから授業に臨むこと。						